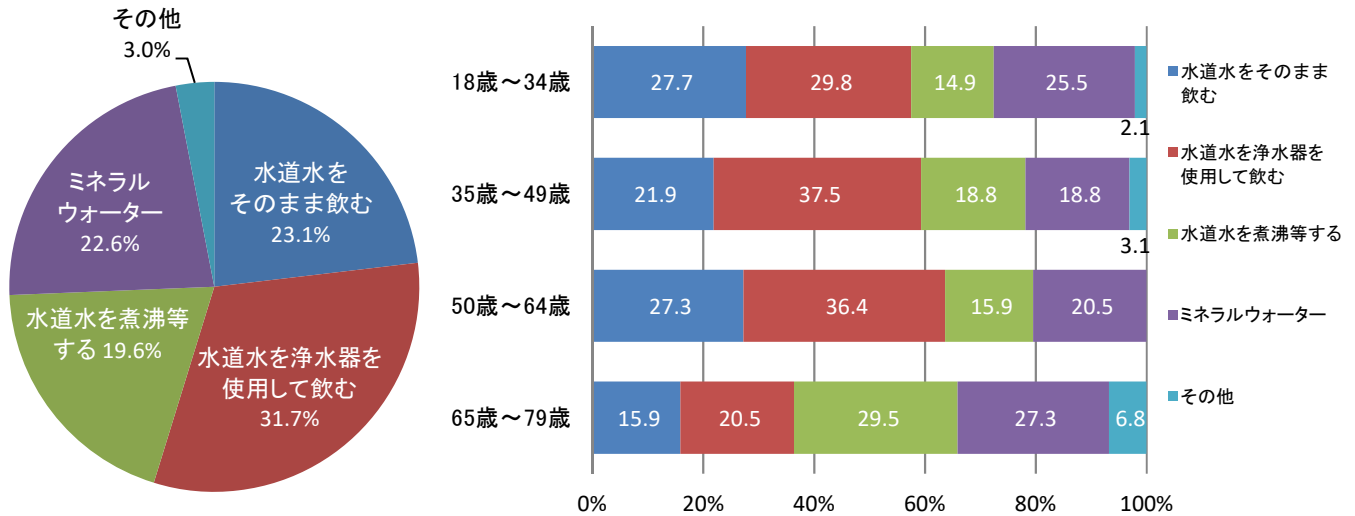


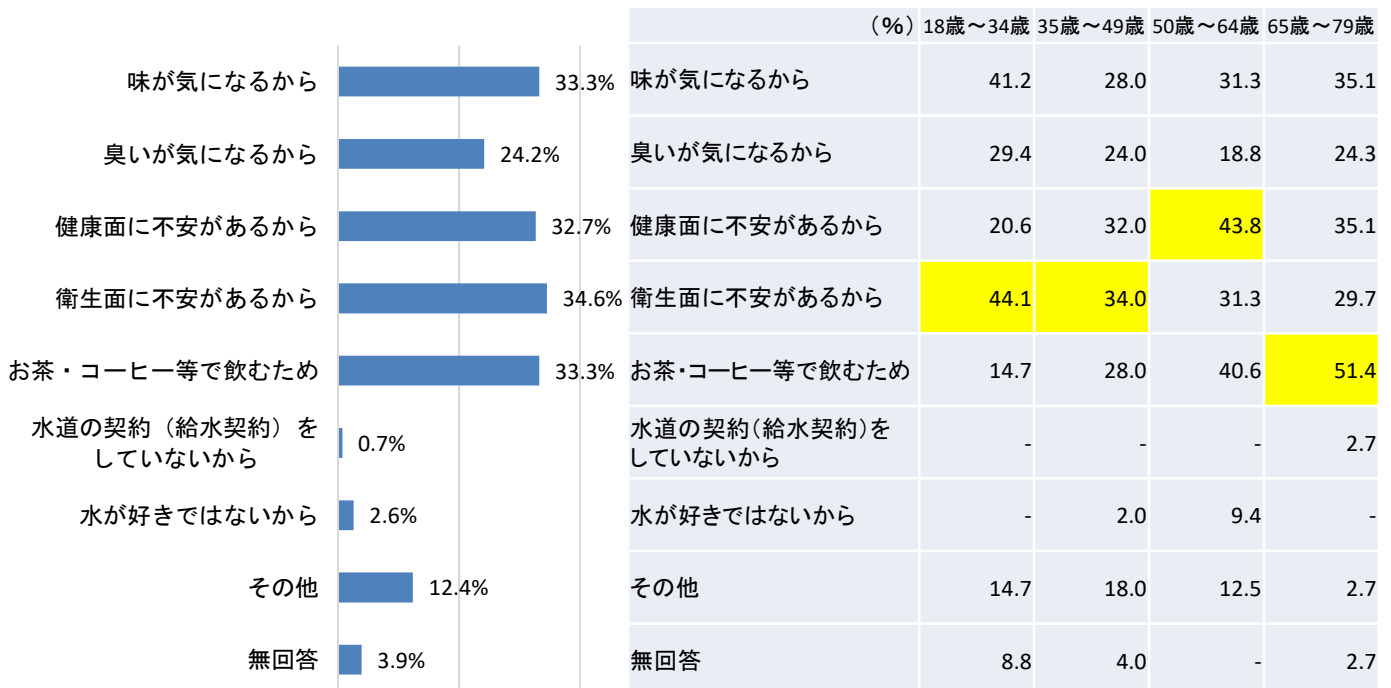
<上下水道に関する取り組みについて>

■問1 主に飲料用の水は何を飲んでいるか (n=199)



- 主に飲料用の水は何を飲んでいるかについては、方法を問わず水道水を飲む(「水道水をそのまま飲む」、「水道水を浄水器を使用して飲む」、「水道水を煮沸等する」という回答が約7割となっています。
- 世代別にみると、方法を問わず水道水を飲むという回答は、18～34歳・65～79歳では約7割、35～49歳・50～64歳では約8割となっています。

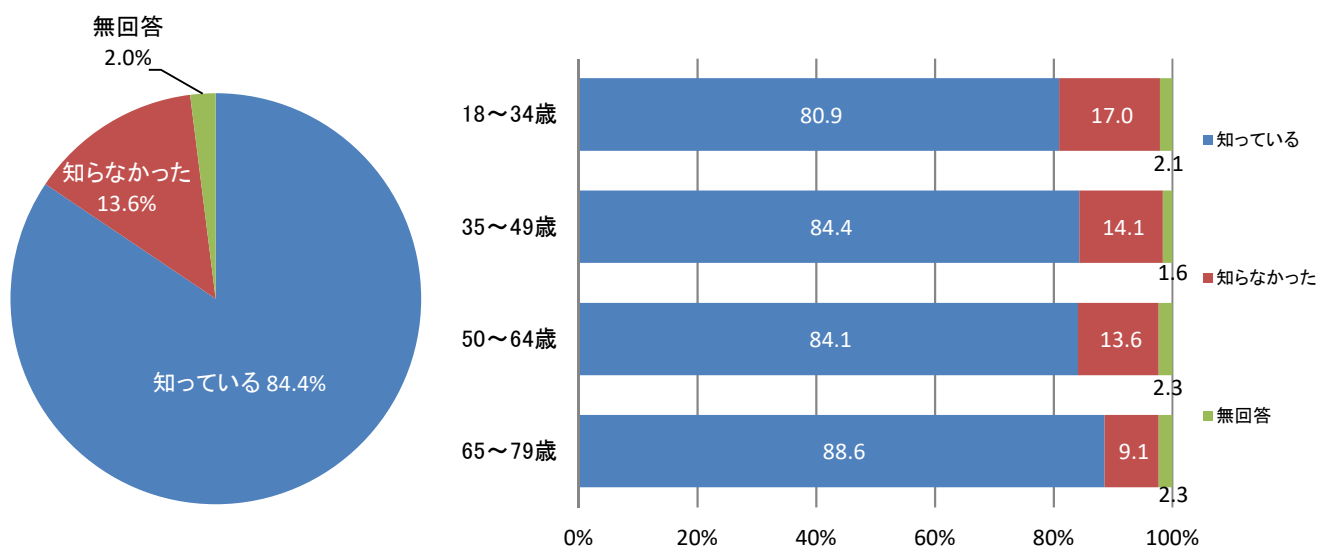
■問2 水道水をそのまま飲まない理由 (n=153 複数回答) (問1で「水道水をそのまま飲む」と回答した方を除く)



- 水道水をそのまま飲まない理由については、「衛生面に不安があるから」、「味が気になるから」、「お茶・コーヒー等で飲むため」、「健康面に不安があるから」が約3割となっています。
- 世代別にみると、18～34歳・35～49歳では「衛生面に不安があるから」が、50～64歳では「健康面に不安があるから」が、65～79歳では「お茶・コーヒー等で飲むため」が最も多い回答となっています。

■問3 水道水には水道法による水質基準※があることの認知度 (n=199)

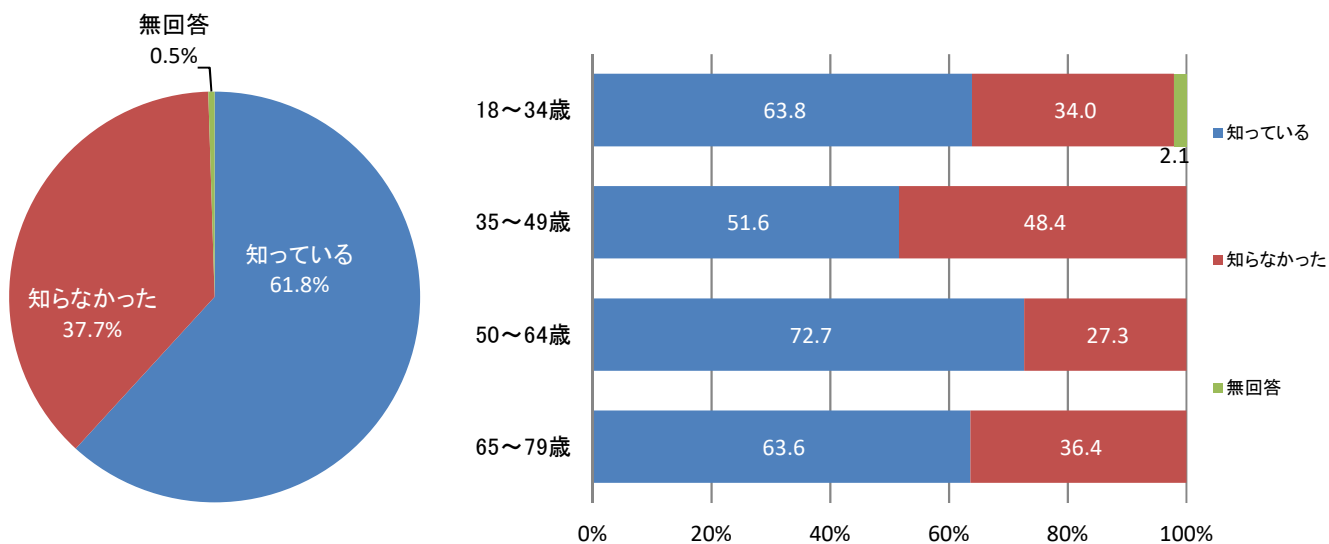
※ 水道水には、人の健康への影響や生活利用上の支障がないよう設定された51項目に及ぶ検査が義務付けられている。



- 水道水には水道法による水質基準があることの認知度については、「知っている」が8割を超えています。
- 世代別にみると、18～34歳・35～49歳・50～64歳の約8割、65～79歳の約9割が「知っている」と回答しています。

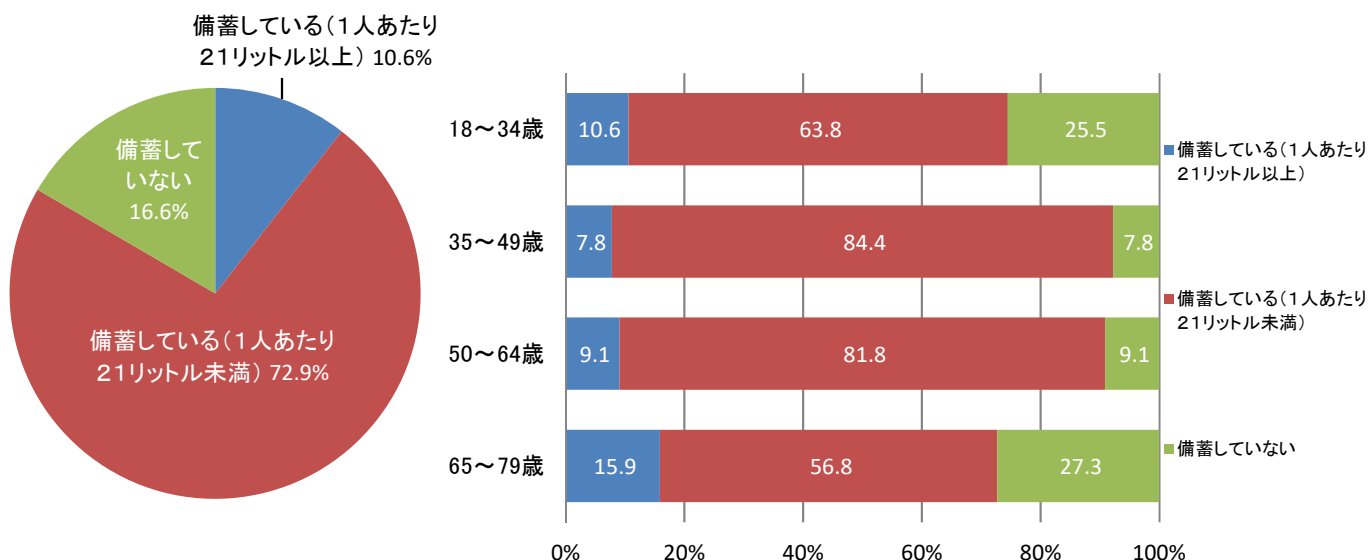
■問4 災害時の飲料水の必要備蓄量※の認知度 (n=199)

※ 災害時の飲料水の必要備蓄量: 1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル



- 災害時の飲料水の必要備蓄量の認知度については、「知っている」が約6割となっています。
- 世代別にみると、18～34歳、65～79歳の約6割、35～49歳の約5割、50～64歳の約7割が「知っている」と回答しています。

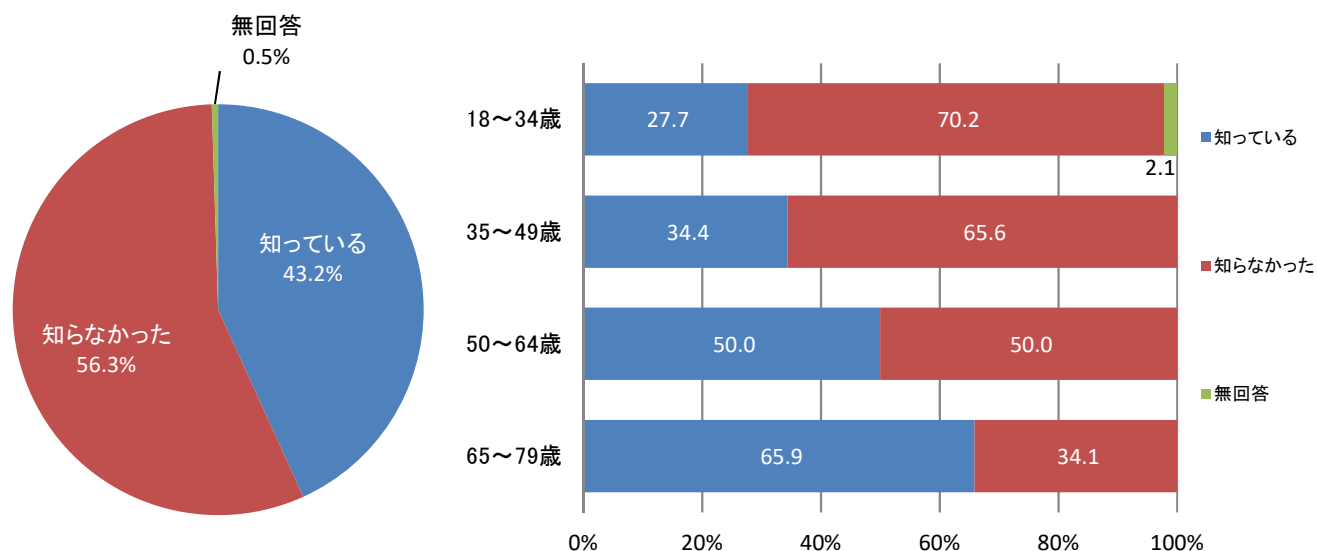
■問5 災害用として飲料水を備蓄しているか (n=199)



- 災害用として飲料水を備蓄しているかについては、「備蓄している（1人あたり21リットル以上）」が約1割となっています。
- 世代別にみると、35～49歳・50～64歳では「備蓄している（1人あたり21リットル以上）」が1割未満となっています。

■問6 災害後、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合などにとる行動※の認知度 (n=199)

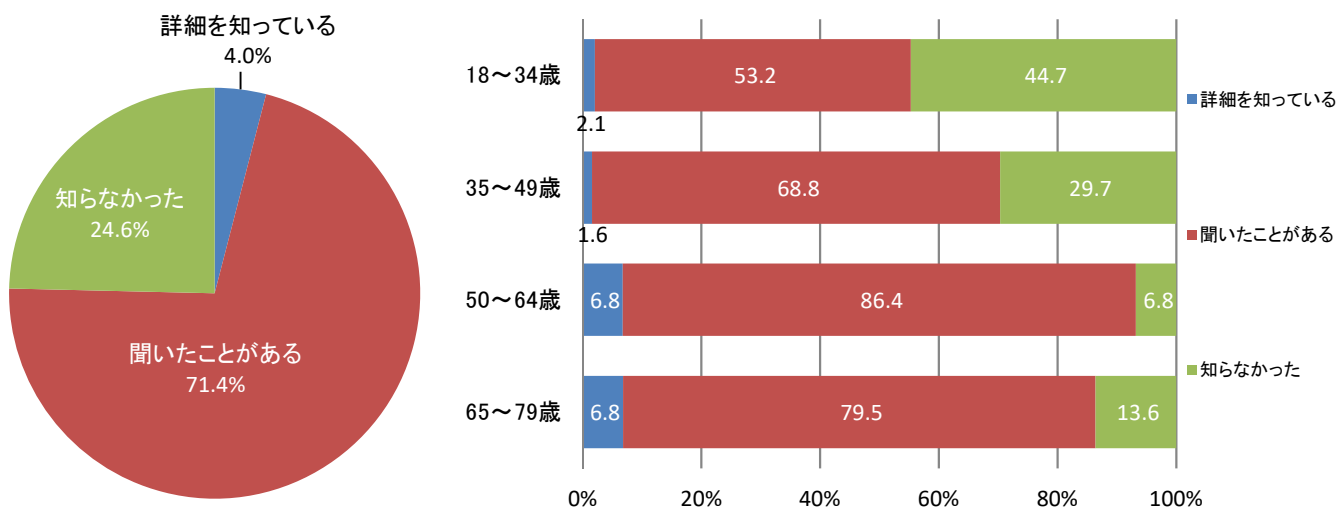
※ 水が濁っている場合は屋外の蛇口などで濁りが取れるまで出し続けることや、トイレが正常に流れない場合は携帯トイレを使用することなどを市公式ホームページで紹介している。



- 災害後、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合などにとる行動の認知度については、「知らなかった」が約6割となっています。
- 世代別にみると、世代が低くなるにつれて「知らなかった」の回答割合が高くなっています。

■問7 近い将来、水道管や下水道管が老朽化※を迎え、管が破損することにより、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度 (n=199)

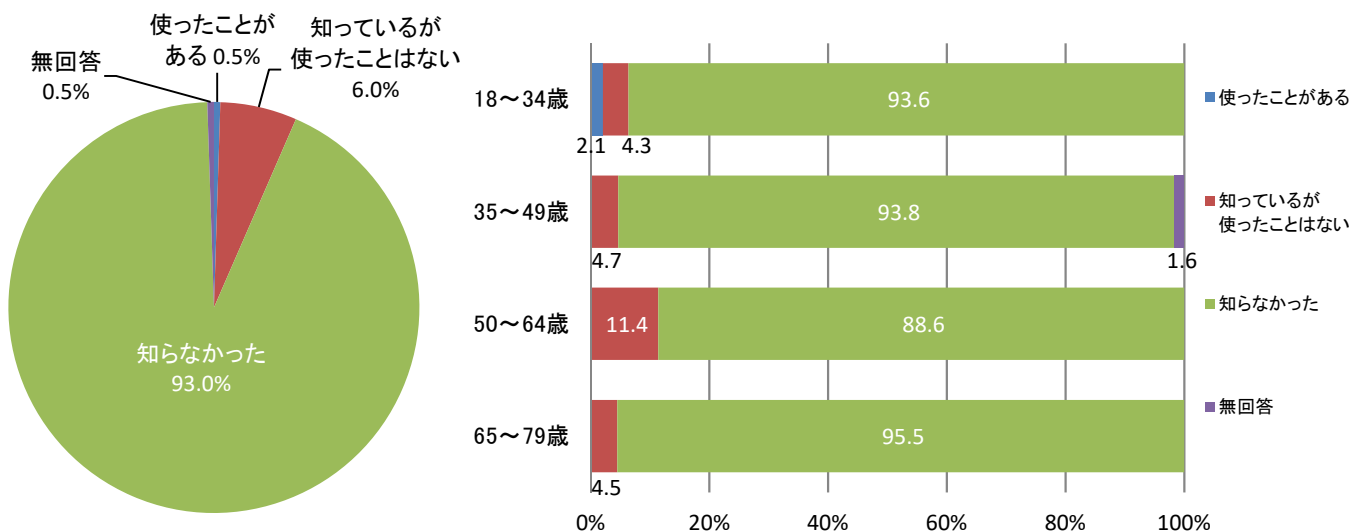
※ 水道は給水開始から93年、下水道は通水開始から58年が経過している。



- 近い将来、水道管や下水道管が老朽化を迎え、管が破損することにより、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度については、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が約8割となっています。
- 世代別にみると、18～34歳の約6割、35～49歳の約7割、50～64歳・65～79歳の約9割が「詳細を知っている」もしくは「聞いたことがある」と回答しています。

■問8 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」※で浜松市の上下水道について調べられることの認知度 (n=199)

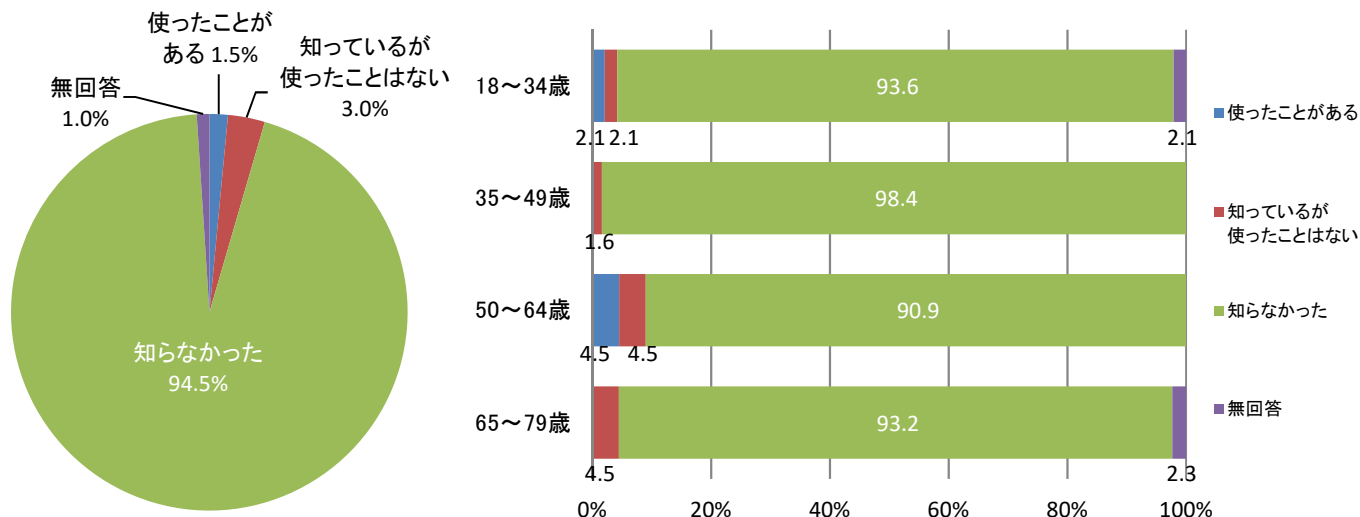
※ チャットボット「手続きQ&A」とは、市民からの問い合わせが多い質問に対し、24時間365日、自動応答で簡易な回答を表示するとともに、詳細が記載されたホームページを案内する機能のこと。



- 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」で浜松市の上下水道について調べられることの認知度については、「知らなかった」が約9割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代の約9割が「知らなかった」と回答しています。

■問9 浜松市水道窓口クラウドサービスアプリ・WEBサイト「すいすい」※の認知度 (n=199)

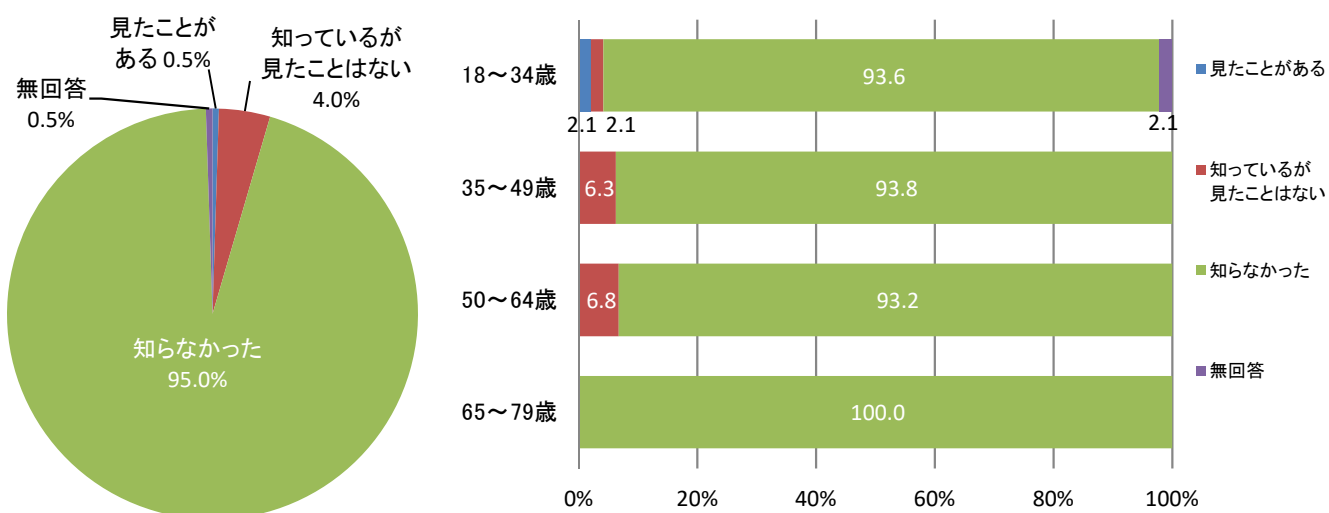
※ 浜松市水道窓口クラウドサービスアプリ・WEBサイト「すいすい」では、スマートフォン、タブレットやパソコンを利用して、水道の使用水量や水道料金の確認、使用開始・使用中止などの水道に関する一部の手続きを行うことができる。



- 浜松市水道窓口クラウドサービスアプリ・WEBサイト「すいすい」の認知度については、「知らなかった」が約9割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代の約9割が「知らなかった」と回答しています。

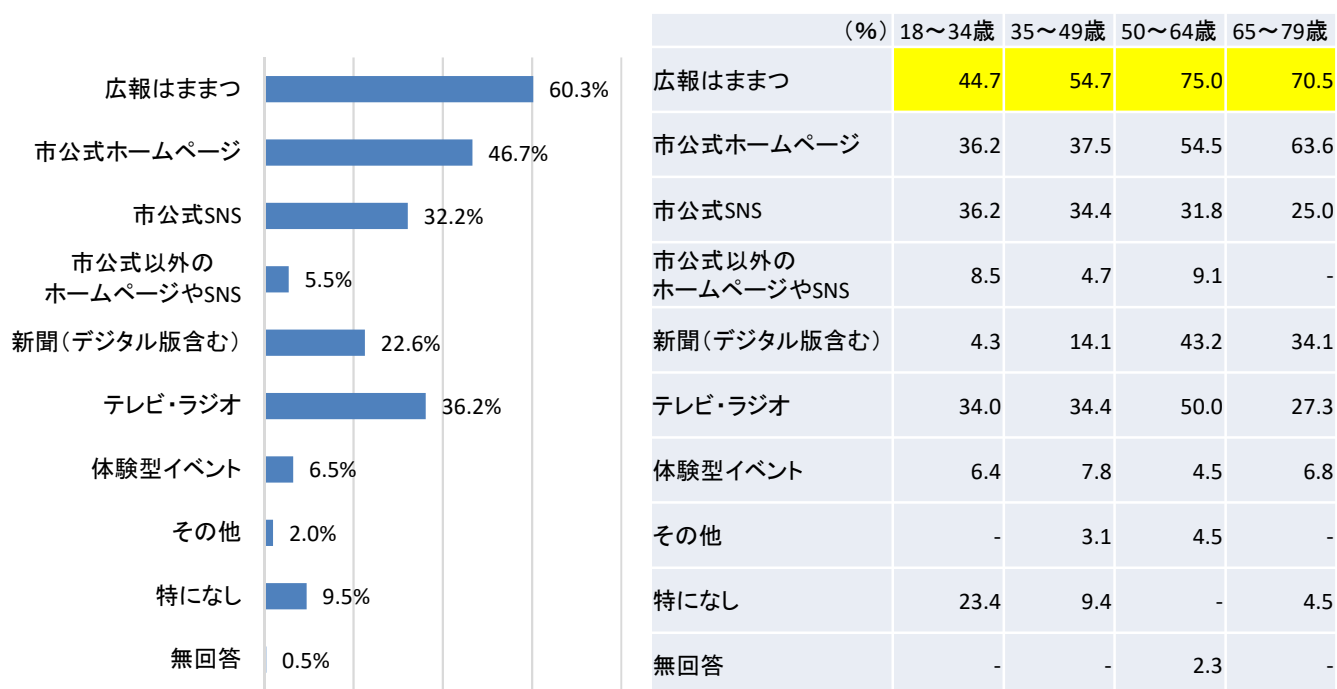
■問10 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」※の認知度 (n=199)

※ 浜松市の水道・下水道について子供が楽しく学べるウェブサイトで、大人も楽しめる内容になっている。



- 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」の認知度については、「知らなかった」が約9割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代の9割以上が「知らなかった」と回答しています。

■ 問11 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体 (n=199 複数回答)



- 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体については、「広報はままつ」が約6割と最も多く、次いで「市公式ホームページ」が約5割、「テレビ・ラジオ」が約4割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「広報はままつ」が最も多い回答となっています。